KAWASAKI STEEL GIHO
Vol.12 (1980) No.2

Flow Stress　　UOE

素材の Flow Stress から UOE 鋼管の機械的性質を推定する方法

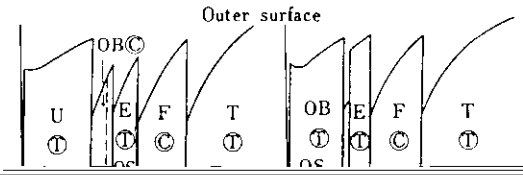
Estimation of Mechanical Properties of UOE Pipe from Flow Stress in Tensile Testing of Original Plate

高田 庸* Isao Takada
山口繁之** Shigeyuki Yamaguchi
上田正雄*** Masao Ueda

Synopsis:

[redacted]

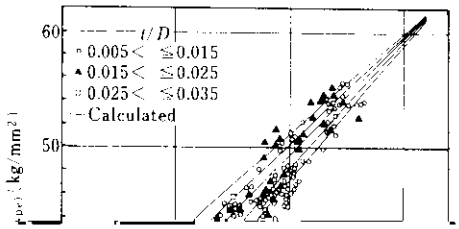
plate under tensile testing. The tensile properties of UOE pipe and the change in Charpy fracture [redacted]



られ，かつ，その製造方法から予測し得る材質特性値から鋼管の機械的性質を推定する方法を検討した。

2. 鋼管素材の応力-ひずみ曲線

3. 素材の $\sigma_{4(\mathrm{Plate})}$ と UOE 鋼管の降伏



$$n' = n_0\left(-6.93\cdot\frac{2x}{t}\cdot\frac{1.56t}{D}+1.00\right)$$

$$c' = c_0\left(-3.57\cdot\frac{2x}{t}\cdot\frac{1.56t}{D}+0.991\right)$$

したがって，$YR_{(Pipe)}=\sigma_{YS(Pipe)}/\sigma_{TS(Pipe)}$ もまたは $\sigma_{4(Plate)}$ から推定される，$YR_{(API)}$ の計算値と

定する場合と同じく，$\sigma_{4(Plate)}$ を用いて $\Delta_V Trs$ を　　で得られている $\sigma_{4(Plate)}$ のデータ数は試験数に

れぞれ鋼管と素材との差）との関係を Fig. 7 に示す。多少のばらつきは認められるが，$\Delta_V Trs$ は $\Delta\sigma_4$ の上昇とともに次式の関係にしたがってほぼ直線

$\sigma_{4(Plate)}$ との関係を調べた。

$\sigma_{YS(Plate)}$ と $\sigma_{4(Plate)}$ との関係を Fig. 8 に，$\sigma_{TS(Plate)}$ と $\sigma_{4(Plate)}$ との関係を Fig. 9 にそれぞれ示す。

$$\sigma_{4(Plate)}=1.282\,\sigma_{TS(Plate)}-21.25 \quad \cdots(9)$$

図より $\sigma_{TS(Plate)}$ との関係のほうがはるかにばらつきが少ない。このことは σ_{YS} より σ_{TS} のほうが加工硬化域における応力-ひずみ曲線の形状と強く関係づけられることを示しており，過去すべての $\sigma_{TS(Plate)}$ から（9）式により $\sigma_{4(Plate)}$ を求め，本予法により $\sigma_{YS(Pipe)}$，$YR_{(Pipe)}$ および $\Delta_V Trs$ を推定し，

うためには，最終的に素材の化学組成および製造方法と $\sigma_{4(Plate)}$ との関係を明らかにする必要がある。

そこで，今までに入手し得た範囲のデータを用いて $\sigma_{4(Plate)}$ と化学組成（wt%），圧延仕上温度（T℃）および板厚（t mm）との重相関関係を求めると，$\sigma_{4(Plate)}$ は次式で表される。